

保護者の皆様へ

浜中町立霧多布小学校

校長 新井 真人

令和3年度学校評価（保護者アンケート）の結果（お知らせ）

余寒の候、保護者のみなさまにおかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日ごろより本校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、11月に実施しました学校評価（保護者アンケート）ですが、90.1%の方に回答いただきました。ご協力ありがとうございます。アンケート結果についてお知らせいたします。なお、この保護者アンケートと児童アンケート、教師アンケートの結果をうけ、次年度の教育活動の改善に活かしていきたいと考えております。ご家庭におかれましても、アンケート結果を受け、今後の学習・生活の見直しなどに役立てるべく、結果を話題にさせていただきますよう宜しくお願いいたします。

令和3年度 保護者アンケート					
霧多布小学校					
下のアンケート項目について、あてはまると思う箇所「○印」をつけて下さい。 A・・・「そう思う」 B・・・「ほぼそう思う」 C・・・「あまりそう思わない」 D・・・「そう思わない」					
()年					
番	アンケート項目	A	B	C	D
今年度学校が大事にして取り組んでいる事項	1 学校は、子どもが楽しく学校生活を送れるよう努めている。				
	2 学校は、日常の授業や朝学習・長期休業中の学習などをとおし子どものやる気を引き出し、基礎基本を定着させるよう努めている。				
	3 学校は、日常の授業で、互いの考えを聞き合い、話し合うなどの活動をおして、子どもに学習のしかたを身に付け、考える力を育てるよう努めている。				
	4 学校は、地域の人材や施設の活用など、地域の教育力を活かした体験的な学習を行い、地域のよさや生き方を考える授業づくりに努めている。				
	5 学校は、朝読書をはじめとする読書活動に取り組み、言葉の力や豊かな心を育てるよう努めている。				
	6 学校は、道徳の時間をはじめ、すべての教育活動をおして、思いやりや感謝の心、認め合う態度を育てるよう努めている。				
	7 学校は、あいさつや返事、場にあった言葉遣いなど、基本的な生活習慣を定着させるよう努めている。				
	8 学校は、運動会(学芸会)などの学校行事をおして、子どもが楽しく充実した気持ちで持てるよう努めている。				
	9 学校は、子どもが望ましい行動が取れるよう適切に指導するとともに、いじめや不登校などの問題を未然に防ぐ指導に努めている。				
	10 学校は、子ども一人一人を理解し、よさを認め、励ますよう努めている。				
	11 学校は体力テストの結果を生かし、体育授業や休み時間の体力づくりの工夫などの取り組みをおして、体力向上に努めている。				
	12 学校は、食育の授業や生活リズムシートの活用などをおして、家庭と連携しつつ基本的な生活習慣づくりに努めている。				
	13 学校は、防災訓練、交通安全指導、防犯の取り組み等の安全指導を進め保護者・地域と連携し自分の命を守る力の向上に努めている。				
	14 学校は、連絡事項や学校の様子をお便り・ホームページ・メール等で分かりやすく適切に伝えるよう努めている。				
	15 学校は、参観日・懇談会での説明や、保護者・地域の方の連絡・相談に丁寧に対応して対応するよう努めている。				
	16 学校は、PTAや学校支援ボランティア、地域との連携を密にした教育活動を進めるよう努めている。				
	家庭での様子	17 霧多布小・中学校が、コミュニティ・スクール(学校と地域が一体となって学校づくりをすすめるしくみ)に取り組んでいることを知っている。			
18 家庭では、早ね・早起き・朝ご飯をかかさぬように心がけている。					
19 家庭では、時間を決めて家庭学習(宿題含む)に取り組んでいる。					
	20 家では、TVやゲームの時間を決めている。				

■上の項目(今年度、学校が大事にして取り組んでいる事項)にかかわって、**よりよく改善するためのアイデア**がございましたら、お書き下さい。(教育活動改善の巻頭にさせていただきます)

◎上のアンケート項目で関係する項目の番号()番

◎記述らん

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。
専用の封筒に入れ、**11月24日(水)までに、学級担任へ**お届け下さい。

アンケート項目は、左記の内容になります。

令和3年度 学校評価（保護者アンケート）結果

I 学校の教育活動全般についての保護者の方の意識にかかわる項目

◆保護者の方は、学校の教育活動に対し、概ね理解を示している

アンケート項目	ABの割合	Aの割合
学校は、子どもが楽しく学校生活を送れるよう努めている。	R2 96.4	45.8
	R3 97.0	56.1

○本年度は、97%の保護者に学校の教育活動に対してご理解をいただくことができた。Aの割合も56.1%であり、肯定的に受け止めていると判断することができる。

II 令和3年度末までに達成する子どもの姿（学校のゴール）にかかわる項目

(1)「知のゴール」にかかわる項目

◆一定の評価を頂いたが、なお一層子どもが「学びとる授業」への改善に取り組む

アンケート項目	ABの割合	Aの割合
学校は、日常の授業や朝学習・長期休業中の学習などを通し、子どものやる気を引き出し、基礎基本を定着させるよう努めている。	R2 92.8	31.3
	R3 97.0	56.1
学校は、日常の授業で、互いに考えを聞き合い、話し合うなどの活動を通して、子どもに学習のしかたを身に付け、考える力を育てるよう努めている。	R2 92.8	44.6
	R3 92.4	51.5
学校は、地域の人材や施設の活用など、地域の教育力を活かした体験的な学習を行い、地域のよさや生き方を考える授業づくりに努めている。	R2 84.3	31.3
	R3 98.4	34.8

○「やる気を引き出し、基礎基本の定着を図る」「学習のしかたを身に付け、考える力を育てる」「地域の教育力を活かした体験的な学習」の項目ともに、90%以上の保護者の方に、本校の教科指導への取組に対しご理解をいただく結果となった。今後とも、地域と連携・協力しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むため、不断の授業改善に取り組むことが大切である。

(2)「徳のゴール」にかかわる項目

◆集団生活向上のために、自らの力を活かそうとする意欲の高まる活動を実施する

アンケート項目	ABの割合	Aの割合
学校は、朝読書をはじめとする読書活動に取り組み、言葉の力や豊かな心を育てるよう努めている。	R2 87.9	31.3
	R3 98.4	34.8
学校は、道徳の時間をはじめ、すべての教育活動を通して、思いやりや感謝の心、認め合う態度を育てるよう努めている。	R2 91.6	32.5
	R3 98.5	51.5
学校は、あいさつや返事、場に合った言葉遣いなど、基本的な生活習慣を定着させるよう努めている。	R2 89.0	34.1
	R3 95.5	50.0
学校は、子どもが望ましい行動がとれるよう適切に指導するとともに、いじめや不登校などの問題を未然に防ぐ指導に努めている。	R2 84.0	27.2
	R3 87.8	34.8

○現在、読書環境の整備も進行中であるが、一層の「心を耕す読書活動」の充実が必要である。

○「思いやりや感謝、認め合う態度」「基本的な生活習慣の定着」に関しては、95%以上の保護者に評価をいただくことができた。今後も道徳教育を充実させ、児童会を中心に子どもが主体的に取り組む活動（地域に開く）の充実を図っていくことが大切である。

●「未然防止活動」については他の項目と比べ低評価であり、教育課程を貫く取組の充実を図りながら、外部からの評価を受けやすい活動を行い、地域とともに子どもを育てる意識を発信したい。

(2)「体のゴール」にかかわる項目

◆他校種や保護者・地域と協力体制を強化した中での取組の充実を図る

アンケート項目	ABの割合	Aの割合
学校は、体力テストの結果を活かし、体育授業や休み時間の体力づくりの工夫などの取組を通して、体力向上に努めている。	R2 85.4	29.3
	R3 97.0	39.4
学校は、食育の授業や生活リズムチェックシートの活用などを通して、家庭と連携しつつ基本的な生活習慣づくりに努めている。	R2 91.6	33.7
	R3 96.9	53.0
学校は、防災訓練、交通安全指導、防犯の取組などの安全指導を進め、保護者・地域と連携し、自分の命を守る力の向上に努めている。	R2 96.4	44.6
	R3 97.0	60.6
家庭では、早寝・早起き・朝ごはんを欠かさないように心がけている。	R2 88.4	47.0
	R3 92.4	48.5
家庭では、時間を決めて家庭学習（宿題含む）に取り組んでいる。	R2 72.3	28.9
	R3 71.2	27.3
家では、テレビやゲームの時間を決めていいる。	R2 50.6	24.1
	R3 59.1	27.3

○「体力向上」や「基本的な生活習慣づくり」「命を守る力の向上」については、一定の評価を頂くことができた。特に、体のゴール「時間の使い方」については、家庭と連携した生活リズムチェックシートの活用による指導の充実がよい評価につながっていると思われる。

○また、各訓練の充実が本校の特色でもあり、引き続き、子どもの意識の向上、社会性を育む活動、地域と一体となって見守る協力体制の強化を図っていくことが大切である。

●家庭学習の取組については、約70%（児童85%）の保護者の方が取り組んでいると回答している。今後も引き続き時間の使い方の工夫と取組例などを提示し、量・質の向上を図っていきたい。

●ゲームなどの時間などについては、他校種や保護者・地域と連携してルールを確認し、地域としての取組につなげていくことも大切である。（大人もスイッチを切る、その時間大人も読書など）

Ⅲ 子どもに対するかわりについての項目

◆子どもの姿から始める学校づくりを推進する（生徒指導の三機能）

アンケート項目	ABの割合	Aの割合
学校は、子ども一人ひとりを理解し、よさを認め、励ますよう努めている。	R2 88.0	28.9
	R3 92.4	40.9

○Aの割合も約41%であり、日ごろからのきめ細かな認め励ます教職員の姿勢が、保護者の方へも伝わっているものと思われる。今後も引き続き充実させ、子ども同士、地域の方からも認め励まされる学校を目指していきたい。

IV 保護者や地域との連携にかかわる項目

◆きめ細かな対応と、学校や子どもを地域に開き、ともに育む活動を強化する

アンケート項目	ABの割合	Aの割合
学校は、連絡事項や学校・学級の様子について、お便り、ホームページ、メール、動画配信などで保護者に分かりやすく適切に伝えるよう努めている。	R2 87.9 R3 92.4	33.7 59.1
学校は、参観日・懇談会での説明や、保護者・地域の方の連絡・相談に丁寧に責任をもって対応するよう努めている。	R2 84.3 R3 92.4	30.1 51.5
学校は、PTAや学校支援ボランティア、地域との連携を密にした教育活動を進めるよう努めている。	R2 69.9 R3 86.4	16.9 36.4
霧多布小学校・中学校が、コミュニティースクール（学校と地域が一体となって学校づくりを進める仕組み）に取り組んでいることを知っていますか。	R2 87.8 R3 98.5	32.9 59.1

○学校からの連絡や保護者対応など、日常の先生方の保護者の方に対する接し方が評価されている。Aの割合も50%以上であり、高評価をいただいた。引き続ききめ細かな対応をお願いしたい。
○コミスクの取組もほぼ認知されてきた。今後は実質的に活動し、地域として子どもたちのために何ができるのかを考えていきたい。
●地域との連携を密にした活動については、コロナ禍でもあり、他の項目と比較して低評価であった。今後は学校を地域に開き、子どもが地域で活躍できる取組を工夫するなど、ともに育んでいく活動の充実を図る。

V 学校行事に関する項目

◆行事で子どもは育つ、今後も子どもを中心に据えた取組の充実を図る

アンケート項目	ABの割合	Aの割合
学校は、運動会や学芸会などの学校行事を通して、子どもが楽しく充実した気持ちが持てるよう努めている。	R2 87.6 R3 92.4	39.5 50.0

○学校行事についても一定の評価をいただくことができた。Aの割合も50%である。コロナの変異株や第六波など今後も難しい取組が続くことが予想されるが、その中でも何ができるのかを考え、前向きに取り組みを進めていくことが大切である。挑戦し、日々改善する姿勢を保護者・地域の方は評価し、難しいことにも理解を示し協力してくれている。

【改善のためのアイデアなど】

- 学校での生活はわからないが、上級生が下級生に乱暴な言葉を使っていたのを見た。
 - ➡ 生活の中での言葉遣いや人との関わり方については、よくなっていると感じているが、上記のような場面がなくなったわけではない。3学期は「ありがとうの木」の取組など周りの“人との温かいつながり”を育むような取り組みで、改善していきたい。
- ランドセルが重いことが気になります（プラスタブレットが増えた）置き勉のルールを少し変えてほしいです。
 - ➡ 次年度にはデジタル教科書の試行も予定されており、家庭学習でのタブレットの活用なども視野に入れ、実態の把握と改善に努めていく。